

令和6年2月28日

海事局内航課

船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！

～中・長距離フェリー、RORO 船のトラック輸送に係る積載率動向について～

国土交通省海事局ではこの度、中・長距離フェリー、RORO 船のトラック輸送に係る積載率の動向（令和5年10～12月実績）を調査したので、その結果を公表します。積載率にまだ余裕のある航路もありますので、荷主・物流事業者におかれましては、今後のモーダルシフト推進に向けた検討にご活用ください。

令和5年6月2日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強かに推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。

これを受け、国土交通省海事局では、中・長距離フェリー及びRORO 船のトラック輸送に係る積載率の動向を調査し、その結果を令和5年8月より公表しております。

この調査は、中・長距離フェリー及びRORO 船事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和5年10～12月）のトラック輸送に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も随時調査を実施してその結果を公表していきます。

○参考：積載率70%未満であった航路

中・長距離フェリー：北東北～北海道（上り下り）、中京～東東北（上り）、阪神～北海道（上り下り）、阪神～北四国（上り下り）、北四国～北九州（上り下り）、阪神～中九州（下り）

RORO 船：東東北～北海道（上り下り）、中京～東東北（下り）、京浜～北四国（上り）、京浜～南中国（下り）、阪神～南中国（下り）、南中国～北四国（下り）、北陸～北九州（上り下り）、阪神～北九州（上り下り）

※RORO 船については、現時点で協力が得られた一部事業者の数値を公表しています。

※実際には季節や曜日、ドック期間（定期整備）によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

【問い合わせ先】

国土交通省海事局内航課 角野、武田、仲川、内藤、笹川
代表電話：03-5253-8111（内線 43453、43463）
直通電話：03-5253-8627

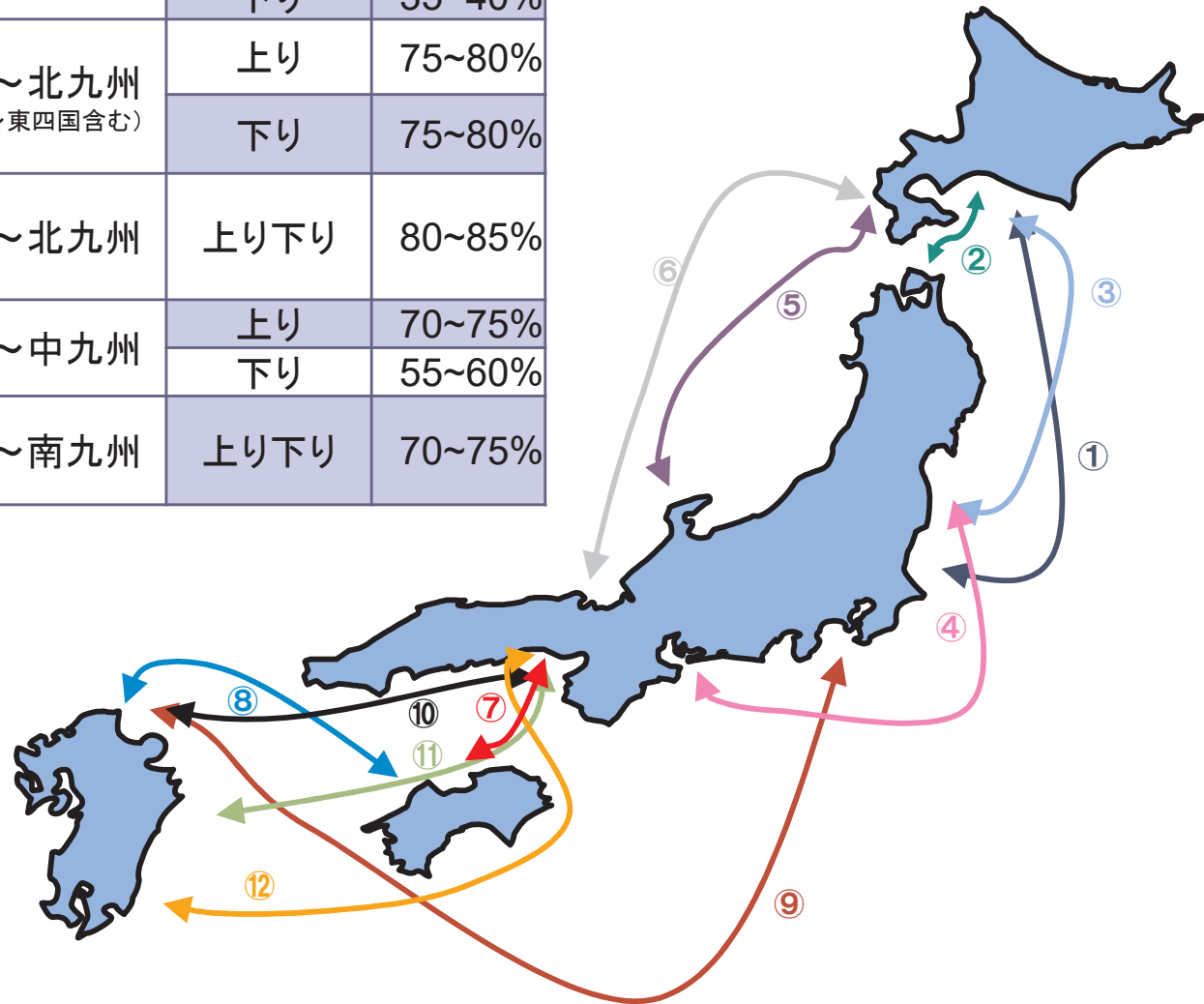
中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査した。

【中距離フェリー航路: 片道の航路距離100km以上~300km未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

【長距離フェリー航路: 片道の航路距離300km以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

航路	上り/下り	積載率
①北関東~北海道	上り	80~85%
	下り	85~90%
②北東北~北海道	上り	35~40%
	下り	20~25%
③東東北~北海道	上り	80~85%
	下り	80~85%
④中京~東東北	上り	60~65%
	下り	70~75%
⑤北陸~北海道	上り	70~75%
	下り	70~75%
⑥阪神~北海道	上り	60~65%
	下り	60~65%
⑦阪神~北四国	上り下り	50~55%

航路	上り/下り	積載率
⑧北四国~北九州	上り	30~35%
	下り	35~40%
⑨京浜~北九州 (一部、京浜~東四国含む)	上り	75~80%
	下り	75~80%
⑩阪神~北九州	上り下り	80~85%
⑪阪神~中九州	上り	70~75%
	下り	55~60%
⑫阪神~南九州	上り下り	70~75%



※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和5年10~12月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

RORO船航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査した。

航路	上り/下り	積載率
東東北～北海道	上り	50～55%
	下り	55～60%
北陸～北海道	上り	75～80%
	下り	85～90%
京浜～北海道	上り	80～85%
	下り	90～95%
京浜～東東北	上り	95～100%
	下り	95～100%
中京～東東北	上り	90～95%
	下り	65～70%
京浜～阪神	上り	95～100%
	下り	85～90%
京浜～北四国	上り	60～65%
京浜～南中国	上り	80～85%
	下り	65～70%
阪神～南中国	下り	60～65%

航路	上り/下り	積載率
阪神～北四国	上り	85～90%
南中国～北四国	下り	60～65%
北陸～北九州	上り	25～30%
	下り	55～60%
京浜～北九州	上り	75～80%
	下り	80～85%
中京～北九州	上り	70～75%
	下り	80～85%
阪神～北九州	上り	65～70%
	下り	30～35%
京浜～南九州	上り	85～90%
	下り	80～85%
阪神～南九州	上り	85～90%
	下り	80～85%

※今回の調査はRORO船事業者のうち、現時点で協力が得られた一部事業者の数値を公表しています。

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和5年10~12月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。